



この講座はゆとり都カレッジに参加しています。

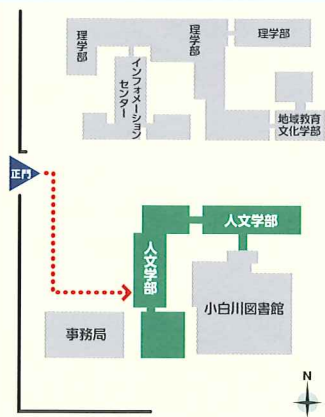
平成26年度山形大学公開講座「人文学部」

- 募集人員 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間 平成26年5月7日(水)～6月5日(木)
- 受講料 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法

下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。  
 通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。  
 なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先 〒990-8560  
 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室  
 TEL : 023-628-4203  
 E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場案内 山形大学人文学部1階 103教室  
 大学正門を入れて正面の建物です。  
 受付は人文学部玄関にて行います。



その他 【公共交通機関ご利用のお願い】  
 現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

シャトルバス運行時刻表  
<http://www.yamagata-u.ac.jp/pdf/ekijikoku.pdf> 参照

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意  
 この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

モンゴル・国立図書館



ロシア・モスクワ大学



アメリカ・イェール大学



ドイツ・ボン大学



イギリス・ロンドン大学

# グローバル時代への挑戦 ～等身大の留学体験～

- 第1回 6/9 月 理念と体制が崩れゆく国で  
 ～解体期のソ連(ロシア)の人々～  
 人文学部 教授 中村 唯史
- 第2回 6/12 木 イギリスとアメリカ、どっちが好き?  
 ～留学生目線の超個人的英米言語文化比較～  
 人文学部 准教授 小泉有紀子
- 第3回 6/16 月 学問のために、なぜ海外なのか?  
 ～ボン大学(ドイツ)哲学科の場合～  
 人文学部 准教授 千葉 清史
- 第4回 6/19 木 米国大学院サバイバル生活  
 ～留学生の理想と現実～  
 人文学部 准教授 松本 雄一
- 第4回 6/23 月 モンゴル・ノスタルジーのゆくえ  
 ～留学で学んだモンゴル遊牧民の本音～  
 人文学部 准教授 中村 篤志

日時:平成26年6月9日(月)～6月23日(月)  
[月・木 計5回]  
 講義時間/毎回 午後6時30分～8時10分  
 場所:山形大学人文学部1階 103教室  
 対象:一般市民・大学生・高校生 定員30名  
 受講料:一般 2,000円  
**大学生・高校生は無料**  
 募集期間:平成26年5月7日(水)～6月5日(木)

〈お問い合わせ先〉  
 山形大学人文学部事務室  
 電話:023-628-4203  
 E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# グローバル時代への挑戦 ～等身大の留学体験～



## 講座の概要

山形大学では、平成25年度から実践教育プログラム「グローバル・スタディーズ」を開設しました。このプログラムでは、海外留学を通して異文化・社会の中で活躍できる人材育成を目指しています。人文学部人間文化学科では、これに合わせてカリキュラムを見直し、「グローバル文化学」など5コースに改編しました。今年からいよいよ始まる新カリキュラムの専門教育は、外国の大学に長期留学した経験を持つ多くの教員が担います。

この講座では、グローバル時代に先駆けて果敢に留学を試みた新進気鋭の講師陣に、等身大の留学体験や興味深い異文化体験について語っていただきます。21世紀をより豊かに生きていくために、教育と研究の新たなカタチについてともに考えてみましょう。

### 第1回目 6/9<sup>木</sup>

#### 理念と体制が崩れゆく国で ～解体期のソ連(ロシア)の人々～



人文学部 教授 中村 唯史

私は1990-92年にモスクワ大学に留学していましたが、それはペレストロイカが破綻し、ソ連が崩壊する過程と重なっていました。今まで当たり前だった理念や社会のしくみが壊れていくなかで、日々の生活に右往左往しつつ、次の時代を模索していた人々の姿は、その後の私の世界観に深い痕跡を残しているようです。規範なき社会の悲喜劇と、偶然その傍観者となって考えたことを、自分の体験や知人友人の逸話に即してお話します。

### 第2回目 6/12<sup>木</sup>

#### イギリスとアメリカ、どっちが好き? ～留学生目線の超個人的英米言語文化比較～



人文学部 准教授 小泉 有紀子

英語圏留学で代表的なイギリスとアメリカ。英語の特徴も異なり、どちらに行こうか迷うものですが、私は幸運にも、両国へ留学をすることができました。イギリス大好き、英文学と英語学で迷うほどであった私が、ロンドン(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)での修士留学で言語学の面白さと出会い、より研鑽を積むべく向かったのは、想像もしていなかったアメリカ、ニューヨーク(NY市立大学大学院)でした。2大都市への留学で、私の英語はどうなったのか? 何を得たのか? 超個人的な目線でお話できたらと思います。

### 第3回目 6/16<sup>月</sup>

#### 学問のために、なぜ海外なのか? ～ボン大学(ドイツ)哲学科の場合～



人文学部 准教授 千葉 清史

「勉強ならば日本にいてもできるはずなのに、わざわざ海外に出かけることにどんな意味があるんだろう?」「海外で学位をとることは、「箔をつける」といった見栄えの問題のほかに、実質的にはどのような意義があるのだろうか?」——こうした問いに答えつつ、海外留学の実情・計画・準備のありかたについて、特に私のドイツ留学体験にもとづいて、お話ししていきたいと思ひます。



### 第4回目 6/19<sup>木</sup>

#### 米国大学院サバイバル生活 ～留学生の理想と現実～



人文学部 准教授 松本 雄一

私は2004年から2010年まで、アメリカ合衆国のイェール大学大学院に留学していました。日本で研究が続けられなくなった末の選択としてアメリカの大学院で博士号を取ることを目指したのですが、そこで待っていたのは生活習慣の違いと学力のレベル差、そして想像を絶する言葉の壁でした。英語をまともに話したこともなかった私が放り込まれた大学院の中で体験したことを、日米両国の教育システムの違いと関連付けてお話ししたいと思います。

### 第5回目 6/23<sup>月</sup>

#### モンゴル・ノスタルジーのゆくえ ～留学で学んだモンゴル遊牧民の本音～



人文学部 准教授 中村 篤志

司馬遼太郎はモンゴル遊牧民を評して「奇跡的なほどに欲望すくなく生きている」と言っています。確かに、我々は朴訥でひたむきに生きる遊牧民像を抱きがちです。しかし、現実にはそれほど甘くはありませんでした。2年間のモンゴル留学(国立科学アカデミー歴史研究所)を通じて、私の抱いていたノスタルジーはいかに壊れ、再構築されていったか、現在の遊牧民を取り巻く環境や最新の研究成果なども紹介しながら、異文化理解の難しさの魅力についてお話しします。

|                                       |  |  |  |                 |  |                 |  |
|---------------------------------------|--|--|--|-----------------|--|-----------------|--|
| 02                                    |  | 払込取扱票  |  |                 |  | 通常払込料金<br>加入者負担 |  |
| 口座記号番号                                |  |  |  |                 |  | 金額              |  |
| 022607                                |  | 92478  |  | 千 百 十 万 千 百 十 円 |  | 2 0 0 0         |  |
| 加入者名                                  |  | 国立大学法人山形大学   |  | 料金              |  | 備考              |  |
| 通信欄                                   |  | 「グローバル時代への挑戦 ～等身大の留学体験～」申込書<br>※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部)<br>○職業をお書きください。( )<br>○年齢をお書きください。( )<br>○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は<br>ご記入ください。( )<br>※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います) |  |                 |  |                 |  |
| ご依頼人                                  |  | おとなまえ  |  | 様               |  | 日附印             |  |
| おとこ(郵便番号)                             |  | -  |  | -               |  | -               |  |
| おとなまえ                                 |  | -  |  | -               |  | -               |  |
| おとこ(電話番号)                             |  | -  |  | -               |  | -               |  |
| 裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙8982号) |  | これより下部には何も記入しないでください。  |  |                 |  |                 |  |

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでください。

|             |            |
|-------------|------------|
| 振替払込請求書兼受領証 |            |
| 口座番号        | 022607     |
| 金額          | 92478      |
| 加入者名        | 国立大学法人山形大学 |
| 金額          | 2000       |
| おとなまえ       |            |
| ご依頼人        | 様          |
| 料金          |            |
| 備考          |            |